

採点基準 採点は、1.大別審査、2.縫製審査、3.細目比較審査の3段階により行う。
各審査の方法は次の通りとする。

1 大 別 審 査

- (1) 全体スタイル及びシルエット
- (2) 人台との適合
- (3) 身頃と袖のバランス(均衡)
- (4) 身頃と上衿の調和
- (5) 仕上り状態

(1)から(5)について A(10点)・B(5点)のカードの投票により2分する。

カードは競技委員ごとに出数選手の半数プラス1枚のA・Bカードを持ち審査投票を行う。

2 縫 製 審 査

大別審査でAのカードの多い順から作品を2分し、上位を審査する。審査項目は採点表に示す20項目で、1項目5点～1点の加点方式で満点は100点。

作業態度は減点方式とし、1回に付き1点を合計点から減点する。

3 細目比較検査

縫製審査の上位3位までの作品について行う。

- (1) 注文紳士服にふさわしい流行(トレンド)の取り入れ
- (2) 作品の出来映え、立体表現、迫力など
- (3) 裏地の裾まつり縫い、ユキ(袖)まつり縫い

(1)～(3)について、1位(10点)、2位(7点)、3位(5点)のカードの投票により順位を決定する。

同点の時は競技主査が決する。

審査に関する要件

- 1. 2. の審査は競技委員間の合議を禁止する。
- 3. の審査も原則同様とする。審査はすべて隠し番号(審査番号)で行う。
- 仕立て完成作品の審査の受付け時に競技委員は立ち会わないものとする。
- 大別審査直前までの人台設置と作品の着せ付けは、選手本人が行う。
- 未完成の場合は失格とする。

審査番号

番

※忘れずに必ず記入してください

縫 製 審 査 採 点 表

競技委員氏名

印

該当する箇所に○印をつける

項 目	評価点	良い	やや良い	ふつう	やや良くない	良くない	検 算
		5	4	3	2	0	
上 衿							
右袖付け							
左袖付け							
肩入れ							
脇縫い							
サイドベンツ							
上前の前返し							
ラペル剣先							
星縫い(ホシ入れ)							
穴かがり							
衿穴かがり							
ラペル止り							
打合せ具合							
裾まわりの安定							
胸ポケットの仕上り							
腰ポケットの仕上り							
ダーツ処理							
芯裾え							
指定寸法							
仕上げプレス							
計		× 5	× 4	× 3	× 2	× 1	
作業態度減点							▲
合 計							

検 認

印